

ふれあい

2019
100号
平成31年2月



クリスマス会(百幡)



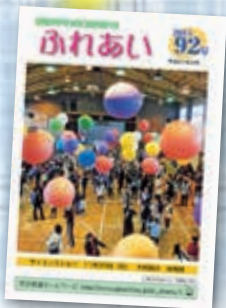
合同ハロウィンパーティー(箱根第一第二)



クリスマス会(東原村)

・「祝100号」.....	2・3	・ファミリーイベント・つながり.....	7
・10年後の自分は.....	4	・歳末助け合い募金・はぜ釣り.....	8
・ふれあいセミナー・ジュニア講習会・ わんぱくセミナー.....	6・7		

祝



100号

市川市子ども会育成会

連絡協議会 会長

石井 克己

昭和三十四年、市川市子ども会育成会連絡協議会創立から九年後の、昭和四十三年「市川市子ども会だより」が発行されました。子ども会草創期であり、子ども会って何、親の役割は、といった情報提供が主な内容であったようです。

昭和五十年広報部発足後、団体数が増えるに伴い年二回発行されるようになりました。昭和六十年、読みやすく、親しみやすい広報誌をと、「ふれあい」に改名、平成四年、会員全世帯に配布し広報活動を拡充させました。以降、県子連広報コンクールに於いて金賞、銀賞他、多数受

青少年育成課 課長

野村 良二

市川市子ども会育成会だより「ふれあい」が100号の迎えられました。たことを心からお祝い申し上げます。

昭和43年に「市川市子ども会だより」として創刊し、昭和60年に「ふれあい」と改名されたとのことで、市川市子ども会育成会連絡協議会の歴史とともに歩んできた広報誌として100号を迎えられたことは、編集に携わってきた関係者の皆様のご

賞、輝かしい成績を収めました。これも歴代広報部員の皆さんの努力の結果であり、心から敬意を表します。

子ども会全盛期からすると、団体会員とともに激減しましたが、地区連絡員の方々に各地区の情報を寄せて頂いて、それらを基に子ども会活性化に繋がる情報を発信していきたいと思えます。一方で何としても会員の減少を食い止めなければなりません。PR活動にも努めてまいります。

本年は、市川市子ども会育成会連絡協議会創立六十周年を迎えます。会報に必要なものは、読者にいかに伝わるかです。今後皆様に発行が待たれる会報にと、願っております。



尽力によるものと、心より敬意を表します。

毎号の「ふれあい」では、行事の様子や参加者の感想など、いろいろな情報が掲載されており、各地域の活動を確認することができます。貴重な広報誌となっております。

暑い時期や寒い時期も、取材等で大変なこともあるとは思いますが、これからも子ども会の情報発信源として、「ふれあい」らしい記事の掲載に期待しております。

市子育連前広報部長

田中 真理子

ふれあい100号の発行おめでとうございます。平成12年5月から28年5月まで広報部に在籍いたしました。

その間、薮崎前会長の下で52号〜81号、現石井会長の下で82〜94号を発行させていただきました。お二人の会長はじめ編集人として一緒に携わっていたいただいた部員の皆様、育成課の担当の方々、また原稿の依頼に快諾していただき紙面を飾っていただきました多くの皆様、たくさん助けていただいた印刷屋さん感謝申し上げます。

平成12年の歓送迎会の後でしたか、元会長の故・関様、副会長の塩野様に市川の喫茶店で「頑張りなさいよ」と励まされたのがついこの間のように懐かしく思い出されます。広報とは無縁でしたのでわけも解らずに、前の号まで編集にかかわっていらした故・佐々木様に言われた「原稿を集めるだけで良いです」との言葉を信じて、気楽に引き受けてしまいました。すぐに見

放され？ あわてて印刷屋探しや、にわか勉強（編集の本を買っただけですが）をしたりしました。皆さまに読んでもらえる広報誌をめざしましたが、改めて言葉の使い方の難しさを痛感したことも多々ありました。校正時のミスでそのまま印刷されてしまいご迷惑をおかけした方々には改めてお詫び申し上げます。

「広報はとても大切で、広報紙は年3回発行が望ましい」とおっしゃる荻崎前会長の言葉にこたえて、発行するとすぐ次号の企画と進めていきました。

平成17年にはインターネット「あいちゃむネット」の子ども会運用が始まりました。担当者の努力で今ではブログも始まり、楽しい活動の様子が見られますので是非ご覧ください。

平成21年には市川市子ども会育成会連絡協議会の50周年記念が盛大に行われ、それまで記念誌が一度も発行されていなかったので、製作することになりました。

50年の歴史の中、青少年課

に創刊号からすべての広報誌が残っていたのはとても助かりました。15周年や20周年に過去を振り返った記事が大変参考になりました。記念誌の中で一番苦労したのは、①昔中での一苦勞したのは、②昔携わった役員の方、③リーダーをされた方、④現役の役員の方と三部構成で座談会をして、そのテープおこしをしたことでしょうか？

平成23年には「広報誌だけでなく、他の広報活動もしてください」との声にこたえて広報誌の発行を年に2回にして、単位子ども会の一言アピールを載せた『子ども会に入ろう』というPR紙を作り、市民祭りで配布しました。24年には昇り旗を制作し地区へ配布。学校、公民館などへのポスター制作。25年には225自治会、2671の掲示板へ子どもの描いた絵のポスターを配布しました。今も活動している子ども会には、新しいポスターを配布していますので、学校や自治会の掲示板などで見ると地域の子ども会が頑張っている事が感じられて嬉しいです。また、その絵を

使ったポケットティッシュも作り、市民祭り会場で多くの方に子ども会をアピールしています。

時代の変化のせいか、会員は減少していますが、嬉しいことに親子で楽しんで参加していらっしゃる方が大勢いらっしゃいます。これからもたくさんの方に広報に携わっていただき、子ども会の盛会を目指して楽しく活動していただきたいと思えます。

8地区

宇原 孝行

【夢の始まり】

小学生になり、参加した地域の子ども会のお祭りに「楽しそう」と興味を持ち、子ども会に入りました。高学年になり、「お祭りの神輿を自分たちで作らないか？」と提案され年齢問わずみんなで作りに上がったことが楽しく、市企画のジュニアリーダーに参加しました。

市川市全体から集まったりリーダー同士での交流を深められ、楽しかったです。そこで市川市ジュニアリーダーサー

元広報部員

金澤 潤市

【眺める…】

市川駅に隣接するアイ・リンクタウン45階の展望室に上がり人口485,000人が住む市内全域を一望する。昭和55年横浜市から小5の長男を頭に子ども3人を引き連れて市川市へ転居してきた時、15歳以下の子どもの数は88,000人とピークの時で、子ども会に連なり遊戯した日々を

彷彿と思い出す。東西線の架橋の下で灼熱の太陽を浴びて競ったハゼ釣り大会、少年自然の家のグラウンドでキャンプファイヤー囲んで歓声を上げた日、ウォークラリー、地区別連合運動会のスナップ写真等を撮影して10年間「ふれあい」に記録するお手伝いをした。

市内の総人口は微増しているが、15歳以下の子どもの数は現在59,000人（33%減）に減じている。眼下にゆったりに流れる江戸川は海へつながる。大空を仰ぎ富士山、秩父連山、筑波山を遠望する自然の中に雄大な希望が育まれるようにと子ども達に願う。スマホやゲーム機に目を落とさず思いやる心の豊かさを育成する活動が「ふれあい」に脈々と続いている。



10年前の夢は「プロ野球選手」でした。

20才になった今、私は社会人2年目。工業高校の機械科で学び、培った技術を生かせる会社を選びました。

中学、高校では野球部に所属していました。3年生の時にはキャプテンも経験しました。部員をまとめるのは大変なことでしたが、キャプテンとしての自負を持って練習に励みました。

野球部で先輩や後輩と仲良くできたのは、子ども会の活動のおかげだと思っています。それは、他学年と協力して行事に参加することが多かったからです。下級生がいれば自然に面倒を見ていました。年末に行なった「火の用心パトロール」は1時間ほど



地域をパトロールで回るので

すが、上級生は歩くのが速い!! 最初は小走りです。行く感じが良かったです。でも、それに気づいた上級生が隣に来て、一緒にゆっくり歩いてくれました。すごく安心し、そんな上級生になりたいなと思ったことをよく覚えていて、子ども会活動で学び得た事は、私にとってとても大切な物だと思っています。

この原稿を書くお話を頂き、当時の記事を読み直しました。もう小学校を卒業してから十年という月日が経ったことに驚いています。このお話を頂いたときは「変なこと書いていなかったらうか」と不安に思いましたが、読んでみるとよく書けた文章が出てきて安心しました。

私は無事に中学と高校を卒業し、現在は四年制の大学に進学して、幼児教育と初等教育について教育学と心理学の面から学んでいます。幼稚園の先生の免許も取れるのですが、現在は小学校の先生になることを目指し、勉強中です。

私は大学生ですが、友人の中には看護師をしている人やトラックの運転手をしている人、新店舗で副店長をする人、

十年後の自分

平川 ともみ

6年 倉又 太一

ほんの十年後は大学生で理科の勉強や実験をやっていると思います。部活は生物部に入って生き物の生態を調べていると思います。理由は生き物が好きだからです。それに理科系の事も好きだからです。

その後、大学を卒業したら親と同じ会社で精いっぱい働いてフマトフ島やボルネオ島に家族で行けたらいいなと考えています。そしてそこで生き物の研究をしたいと思っています。なぜフマトフ島やボルネオ島で研究したいかというとフマトフ島やボルネオ島は昆虫の宝庫であり、自然がいっぱいあって生き物の研究だけで

十年後の自分

高石神子ども会

6年 阿部 真美

間たくさん遊びたいです。一日目はデイズ・リゾー、トヤ、ゆうえん池で遊んで、二日目は、ショッピングモールやえい画館、食べ放題レストランに行きたいです。もちろん、お金は全部私が払います。考えるだけで、妹や弟の幸せな顔が頭に浮かびます。家族の幸せな笑顔が私の幸せです。

十年後が心から楽しみです。十年後が先生になっているのかな? どんな先生になっているのか楽しみです。さらに、四才から始めた習い事に英語とタップダンスがあります。それを続けて、もっと上達していきたいです。いろんな夢があるけれど、自分らしい十年後でありたいです。



幸せ

大町市の子ども会

5年 山口 彩藍

私は十年後、家族で二日



十年後の自分について

ルネ新行徳子ども会

4年 竹内 茜

十年後、二十才になった私は、大学で勉強していると思います。最近では弁護士や検察官など、カッコいい仕事にも興味を持っているので、そういう勉強もできたらなと思っています。

さらに、四才から始めた習い事に英語とタップダンスがあります。それを続けて、もっと上達していきたいです。いろんな夢があるけれど、自分らしい十年後でありたいです。



ふれあい81号 掲載記事

後の は?





大町子ども会

山口 彩監

あれから10年経ち、私は大學生になりました。今は宇都宮に引っ越し、大学で森林の勉強をしています。子どものころの夢は作家になることでした。今はそれと全く関係ない夢に変わりましたが、読書は今でもずっと好きです。今年も読書の秋を満喫するつもりです。

秋といえば、子ども会に入っていた際に近くの畑でお芋掘りをしたことがありました。私が今スーパーでよく見る薩摩芋の比ではありません。そのくらい大きな薩摩芋が掘れば掘るほどごろごろ出てきたのをよく覚えています。その後は母親とスイートポテトを作りました。掘りたての薩摩芋を蒸して、砂糖やバター、生クリームやシナモンを加え、できた生地表面に解いた卵を塗って焼いていきます。そうしてしばらくす

十年後の自分

新田町子ども会

5年 折田 健佑

ほくは、柳心館市川支部というグループで空手を習っています。十年後も、この空手を続けていると思います。

空手は、幼稚園のころから続けています。試合で勝てる様になると、面白くなって、自分から一生懸命練習する様になりました。

大会でメダルを取ると、家族や、同じ支部のみんなが喜んでくれます。また、自分の練習の成果を出せたという達成感を感じます。

この達成感、これからもっともっと感じたいからです。



と、甘くて美味しそうな匂いが家中に立ち込めます。待ちに待ったスイートポテトを家族で囲んで食べますと、なんとも幸せな気持ちになりました。その時のことを思い出せば今でもじんわりと心が温かくなるのです。これから宇都宮は寒くなってきました。その前に、久々に実家に顔を見せに行こうと思えました。

平成22年2月

10年 自分

十年後の自分

新田町子ども会

5年 渡邊 陸

まだ、先のことだからはっきりとはわからないけど、わたしは動物やおしゃべりが好きなので、生き物に関する仕事か、ファッションに関係のある仕事をするために、勉強をしていると思います。



十年後の自分

新田町子ども会

5年 山田 達矢

ほくは十年後、野球選手になつていたいんです。なぜなら野球が楽しいからです。



十年後の自分は 何をしているか？

中山子ども会

6年 後藤 穰

ほくは、こんと中学生になります。そこでほくは、野球部に入ろうと思っています。

小学校のころからずっと野球をやってきて、自分でもとんとん達していると思います。

だから十年後の自分はプロ野球選手になっていると思います。それまでは、中



学で試合の経験を積み、高校でチームメイトといつしよに練習をがんばり、「甲子園」という大きな目標をたっせいたいんです。そしてプロ野球のドラフト会議に一位指名でプロの世界に入り、力をつけていき、最後にはメジャーリーガーになりたいです。

そのためには、これからの一回一回の練習を大切にしまつてもっともっと上達していきたいなあと 생각합니다。

中山子ども会

後藤 穰

「終わりなき旅」

現在の私は、十年前に想像していた自分とは大きく異なります。十年前は本気でプロ野球選手になると思っていました。しかし現実には甘くなく未だに目指している途中です。現在の私は大学で野球を続けています。毎朝六時から練習をし、三年間でリーグ戦



の優勝を二回経験しています。中学、高校、大学と進むにつれ、周りのレベルも上がり厳しいことや悔しい現実も多々経験しています。それでも自分はまだ上手くなれると信じてここまで続けてきました。学生野球も残り一年となった今、全ての練習に妥協せず一日一日を大切に過ごしていきます。

今後は、これまで野球で得た知識を今までお世話になったチームで指導する形で恩返ししていきたい、また私自身も社会人になっても野球をやり、体が動かなくなるまで続けたいです。

そして、これまで野球をやらせてもらい、こんなにも楽しいスポーツに出会わせてくれた両親の前でプレーしている姿を見せて結果で必ず恩返しをすることが今の目標です。

アンディ先生のマジックショー

事業部 西尾 啓子

11月25日(日)、全日警ホ
ールでファミリーイベントを
開催しました。子どもたちに
も大人気の「アンディ先生の
マジック&イリュージョンシ
ョー」です。2年前も大変好
評で、また見たい!という感
想をたくさんいただしていま
した。今回、午前午後の2回
の公演には、子ども、大人合

わせて270名の会員のみな
さんが参加され、アンディ先
生と一緒にマジック&イリュ
ージョンの世界を体験しまし
た。ハンカチ、新聞紙、トラ
ンプなどを使ったマジックで
は、アンディ先生がお手伝い
を募集すると、たくさんの人
が元気に手を挙げてくれまし
た。空中浮遊や瞬間移動では、



「すごい!」「ど
うして?」など、
大きな驚きの声が
あがっていました。
最後は、全員
でスプーン曲げに
挑戦しました。か
け声とともに曲が
ったスプーンは、
成功の記念に大切
に持ち帰りました。
これからも家
族で楽しめるイベ
ントを企画してい
きますので、みな
さんぜひ参加して
下さい。

第2回

子ども会綱引き大会

地区理事長 服部 英信



平成31年1月27日(日)、「道
の駅いちかわ」対岸の東国分
中学校体育館で子ども会綱引
き大会が開催されました。イ
ンフルエンザ大流行の影響に
も負けず、元気な子供たちが
応援の大人たちが、空気の氷
を敷き詰めた体育館に集合し
ました。

石井会長の挨拶があり、亀
山副会長のルール説明を受け
て、参加者全員で体育館一杯
に広がりラジオ
体操を行いました。
さうあ、い
よいよ始まりで
す。緊張が走る
中、低学年と高
学年それぞれ総
当たりのリーグ
戦を行い、参加
者80数名の歓喜
と歓声が体育館
の隅々に反響し
て冷え切った頬
を温めました。
連続参加の子

ども達も多く、少しでもスポ
ーツ綱引きの楽しみを実感で
きた喜びに、子ども達の笑顔
には満足感が溢れていました。
綱引き大会の後は「じゃん
けんゲーム」や新聞紙でから
だ全体をミノムシのようにく
るむ奇想天外なミイラ運び競
争など、思いもよらないゲー
ム展開に心が躍りました。子
ども達は大きな参加賞を頂き
体育館を後にしました。



足そうな顔を見せてくれたの
で、嬉しく思いました。機会
があればまた参加し、今後の
活動にいかしたいと思えます。

子ども会歳末助け合い募金

この子ども会歳末助け合い募金運動は、子ども会の奉仕活動のひとつとして、子どもたちのおこずかいの中から無理のない程度に浄財を出し合い、子ども会会員一人ひとりの善意と友情として募金を行いました。12月25日（火）午後2時から市川市役所仮本庁舎第4委員会室で、平成30年度募金贈呈式が行われました。

事業部長遠藤恵子さんの司会で進行し、子ども会を代表して、1



ども会を代表して、1地区北国分堀之内子ども会の大山実花さん（5年）小宮僚太郎君（4年）、7地区大野3丁目子ども会の橋本啓佑君（6年）・橋本早季さん（5年）が代表して笠原副市長へ市内の子ども会で募金した約15万円を「市内の福祉のために役立ててください」のメッセージと目録を渡ししました。その後、副市長から社会福祉協議会の小島武久会長に託され市内の福祉施設に配分されました。参加子ども会は22団体です。来年は多くの子ども会のご協力をお願い致します。贈呈式に市子育連5名、子ども会代表児童4名、児童引率者4名、社会福祉協議会2名、青少年育成課3名が出席しました。

ども会を代表して、1地区北国分堀之内子ども会の大山実花さん（5年）小宮僚太郎君（4年）、7地区大野3丁目子ども会の橋本啓佑君（6年）・橋本早季さん（5年）が代表して笠原副市長へ市内の子ども会で募金した約15万円を「市内の福祉のために役立ててください」のメッセージと目録を渡ししました。その後、副市長から社会福祉協議会の小島武久会長に託され市内の福祉施設に配分されました。参加子ども会は22団体です。来年は多くの子ども会のご協力をお願い致します。贈呈式に市子育連5名、子ども会代表児童4名、児童引率者4名、社会福祉協議会2名、青少年育成課3名が出席しました。

はぜ釣り大会

8月4日（土）猛暑の中、江戸川で行なわれました。12の子ども会、99名の参加があり、熱中症予防のドリンクや塩分チャージが振る舞われ、無事楽しく競われました。



成績（子どもの部）

順位	子ども会名	氏名	学年
優勝	須和田1丁目	谷口 直也	2年
2位	白幡	丸山香乃子	2年
3位	須和田1丁目	谷口 葵	5年
大物	若宮2丁目児童青年部	名田部桐矢	3年

（大人の部）

順位	子ども会名	氏名
優勝	大和田	門倉佐知子
2位	高谷	八木岡武志
3位	若宮三丁目上町町会児童部	杉本 佳樹
大物	若宮三丁目上町町会児童部	杉本 佳樹

60周年記念行事のお知らせ

10月6日
子どもイベント
(国府台スポーツセンター)

11月10日
60周年記念式典
(市川グランドホテル)



詳細はふれあい101号に掲載

編集後記

「ふれあい」が100号を迎えました。昭和から平成にかけ多くの方々から見守られながら続いてこられたことに感謝いたします。

「ふれあい」に登場された多くの子ども達や育成者の現在、過去を思い返すのも、100号が「心の交差点」としての役割があるかと思えます。新しい元号に変わる101号からの未来に、皆様により親しんで頂ける広報誌になるようご協力をお願いし、努力します。

市川市子ども会育成会会だより

「ふれあい」100号

発行 市川市子ども会育成会

連絡協議会

住所 市川市柏井町四一四七一

発行人 石井 克己

編集人 遠藤 淳子

川上 みつ子

大林 和彦

川田 仁美

及川 和弘

遠藤 孝治

赤澤 秀樹

長野 智志